

12 検診

生活習慣病といわれるがん、心臓病、脳卒中等は、中高年層に多発しており、これらの疾病による死亡者数は、総死亡者数の半数以上を占めています。

そこで、生活習慣病をはじめとする中高年からの総合的な保健対策として、がん検診及び健康増進法に基づく健康診査等を実施しました。

1 がん検診

がんは死亡原因の第1位を占めていますが、がんを早期発見し、早期治療の促進を図ることを目的に、各種がん検診を福祉保健センター、医療機関、検診車、市民病院がん検診センターの各施設で実施しています。

平成22年度の受診者数は、前年度と比較して、胃がん検診が12.6%の減少、肺がん検診が9.3%の増加、子宮がん検診が3.7%の増加、乳がん検診が16.8%の増加、大腸がん検診が3.0%の減少、PSA検査（前立腺）が4.2%の増加となりました。

各種がん検診の内容

検診項目	実施機関及び実施場所	対象年齢	受診回数
胃がん検診	検診車 実施医療機関（約440）（注1）	40歳～	年1回
肺がん検診	実施医療機関（約130） 各福祉保健センター 市民病院がん検診センター（注2）	40歳～	年1回
子宮がん検診	実施医療機関（約190）	20歳～	2年に1回
乳がん検診	実施医療機関（約390）	40歳～	2年に1回
大腸がん検診	実施医療機関（約860）	40歳～	年1回
PSA検査 （前立腺）	実施医療機関（約1180）	50歳～	年1回

注1 平成23年3月31日現在の実施医療機関数

注2 市民病院がん検診センターは、上記がん検診に加えて、喉頭がん検診、肝・胆・膵がん検診、前立腺がん検診、婦人科超音波を実施しました。

がん検診受診者数

		平成20年度			平成21年度			平成22年度
		受診者数	要精検数	発見者数	受診者数	要精検数	発見者数	受診者数
胃がん	医療機関	46,913	4,199	80	44,967	3,975	64	40,685
	検診車	8,606	1,006	26	8,746	1,091	24	6,243
	計	55,519	5,205	106	53,713	5,066	88	46,928
肺がん	医療機関	828	102	0	1,666	223	3	4,990
	福祉保健センター	7,974	1,118	6	8,153	682	18	6,588
	がん検診センター	3,617	390	2	3,567	171	4	3,052
	計	12,419	1,610	8	13,386	1,076	25	14,630
子宮がん	計	73,096	1,174	117	100,063	1,776	90	103,756
乳がん	検診車	1,885	—	—	2,297	—	—	1,774
	医療機関	34,027	2,773	177	50,523	3,905	165	59,894
	計	35,912	2,773	177	52,820	3,905	165	61,668
大腸がん	計	89,484	5,611	376	90,245	5,644	318	87,521
PSA検査 （前立腺）	計	34,554	—	—	39,451	—	—	41,100
合計		300,984	16,373	784	349,678	17,467	686	355,603

* 平成22年度の要精密検査者及び発見者数は追跡調査により集計中

* 乳がん検診の検診車は平成19年度からマンモグラフィ搭載車を運行

2 健康診査

糖尿病等の生活習慣病を予防する対策の一つとして、後期高齢者医療制度被保険者の市民および40歳以上の生活保護受給者の方等を対象に、病院・診療所（約1,200の医療機関）で健康診査を実施しました。

健康診査の内容

実施機関及び実施場所	対象年齢	受診回数
実施医療機関（約1,210）	後期高齢者医療制度被保険者の方 および 40歳以上の生活保護受給者の方等	年1回

健康診査の受診者数

平成21年度	29,144人
平成22年度	30,176人

* 平成20年度より開始

3 C型肝炎ウイルス等検査

肝炎ウイルスの感染者を早期に発見し、肝炎による健康被害を回避、軽減することを目的とし、がん検診、健康診査等の実施に併せて、過去に肝炎ウイルス検査を受診していない方を対象にC型・B型肝炎ウイルス検査を実施しました。

C型肝炎ウイルス等検査の内容

実施機関及び実施場所	対象年齢	受診回数
実施医療機関（約1,150）	40歳～	1回限り

C型肝炎ウイルス等検査の受診者数

平成20年度	3,371人
平成21年度	2,860人
平成22年度	1,778人